

2021年度 トライアスロン部 インタビュー

部員数	21～40人	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人文・文化学群, 社会・国際学群, 生命環境学群, 理工学群, その他（大学院など）	2021東日本学生トライアスロン選手権 那須塩原大会、日本学生トライアスロン選手権 多数出場
練習場所	陸上競技場、屋内プール、屋外プール、つくば市近郊	

蓮沼優大(国際3年)
佐藤佳乃(社工2年)

佐藤 — 私が目指す「トライアスロン」

蓮沼

限界突破。という大袈裟ですが、トライアスロンを始めたことで何キロも泳げたり何百キロも走れるようになったりと、自分の殻を多く破れました。

また、部活と並行して勉強も遊びもその他の活動も充実させたかったので、生活を成り立たせるために自分を律する機会を強制的に設けられたのは良かったです。

佐藤

仲間とともに強くなる！！泳いで漕いで走る、シンプルだけど贅沢なこの競技をとことん楽しむこと！！



— 筑波大学をどう思っていた？

蓮沼

筑波は部活が強いイメージもあったので、トライアスロン部も結構ゴリゴリの人が集まってると思っていました(笑)。

けれど、実際は気さくで面倒見がいい人が多くて、その期待がいい意味で裏切られたことは結構衝撃的でした。

佐藤

筑波大学のイメージは「真の総合大学」。そして足を運んだ印象は「広い・緑・自転車」。

— 今のチームで学んだこと、チームの好きなおところ

蓮沼

トライアスロンは個人競技ですが、自分本位にならずに周りへのサポートや部全体を考えて行動してくれる人が多いです。自分は泳ぎも自転車も初心者でしたが、そういう支えのおかげで練習に集中することができ、全国大会に出場することができました。そして、今度は皆のために自分ができることを探そうと思える人達が集まっているのもとても好きです。

佐藤

筑波大トライアスロン部にはコーチがいません。運営面・競技面でチームの課題を、みんなで話

し合い、助言し合い、時には先輩やOBOGのお力添えをいただきながら、組織としても個人としても少しずつ成長できること、チームってみんなで作っていくんだなあということを学んでいます。

部員みんなが仲間思いなところ、トライアスロンに没頭しているところ、仲間のために尽くしてくれるところが大好きです。トライアスロンはお金がかかるスポーツではあるのですが、それぞれが一生懸命工面してトライアスロンに向き合っている真剣さも尊敬できます。そして個人競技であるトライアスロンで、互いを尊重し合い称え合うことができる仲間に囲まれた今の明るい部の雰囲気大好きです。



— これからの目標(直近の目標、人生の目標)

蓮沼

直近の目標は全国大会でベストを出すことです。ゆくゆくは自転車で日本縦断したり、フルマラソンを走ったり、IRONMAN(3.5km泳いで、180km自転車漕いで、42.195km走る大会)に出たいと思っています。こんなことがしたいなんて2年前の自分では考えられませんでした。なんかできそうに思えるほど成長できるのもトライアスロンの魅力だと思います。

佐藤

今年の最大の目標は仲間と手にした最高の舞台、インカレで完走し仲間と喜び合うこと。そして在学中はトライアスロンをしながら、見たことのない景色をたくさん見てみたい！

人生の目標は、生涯、胸を張ってアスリートと言えるようにトレーニングを継続すること。そして人の心に寄り添う仕事をしながら、自分の財産となるだろうトライアスロンを通した日々を何かに還元することです。

— 未来のチームメイトに一言

蓮沼

トライアスロン部は、出身競技(部活をやっていなかった人もいます)のバラツキはもちろん、全国大会を目指す人・エンジョイしたい人・積極的にサポートを行ってくれる人など様々な志向性を持つ人が共存する稀有な組織です。どんな人にも活躍の場はあるし、(学内外で)おもしろい仲間にも沢山出会えますよ！

一緒に「つくトラ」を作っていきましょう！

